

RICOH
Visual Communication
お客様導入事例

PCとケーブルでつなぐだけで、すばやく起動して授業開始。

資料や映像を大きく投写し、音声再生を実現するプロジェクターが、
生徒による能動的なアクティブ・ラーニング*をサポート。

*アクティブ・ラーニングとは、文部科学省が提唱する、グループ・ディスカッション、ディベート、グループワークなどによる課題解決型の能動的学修のことです。

千代田区立九段中等教育学校様

■機器構成 : RICOH PJ WX3351×2台 PJ WX3340×16台

Profile

■平成18年開校の中高一貫教育校。「豊かな心 知の創造」を教育目標に掲げ、
生徒一人一人が学んだ知識を自ら活用できる教育を推進。

■URL : <http://www.kudan.ed.jp>



プロジェクターを活用した
見る・聞く・話すの授業で、
生徒の意識が集中し、
学ぶ姿勢も積極的になりました。



九段教育中等学校様はアクティブ・ラーニングをより推進していくためにICT*を活用され、英語科ではプロジェクターとタブレットPCを組み合わせられた授業に取り組まれています。文字や写真、音声によって生徒の意識が集中し、授業に向かう姿勢が積極的になり、また、授業が効率化されたことで、生徒が触れる英文の量も大幅に増やすことができたこと、導入の効果を実感されています。

*ICTとは情報通信技術の略称です。

ICT使用前の授業

黒板中心の授業では
伝えられる内容に
限界があった。

生徒が触れる英文の量が
今より少なかった。

ICT使用後の授業

！ 文字や写真、音声で楽しみながら、
授業により集中できるようになった。

！ 教材をスピーディーに切り替えられ、
練習問題の量が増えた。

ケーブルをタブレットPCに
差し込むだけで起動、
すばやく授業を始められます。

千代田区立 九段中等教育学校
英語担当教員

笹生 先生



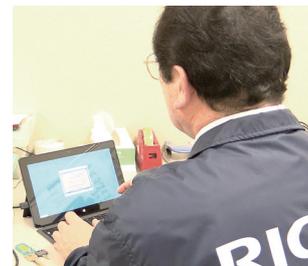
以前の黒板中心の授業では、CDプレーヤーから歌を流したり、教科書の絵を拡大コピーして黒板に貼り付けたり、さまざまな工夫をしていましたが、生徒に伝えられる内容に限界がありました。また、重要な部分は板書していましたが、書くための時間が取られるだけでなく、ノートに写して生徒が満足してしまっはいけないと感じていました。リコーのプロジェクターは、起動も簡単かつ迅速。内容の濃い授業をすばやく開始して、生徒を集中させることができます。



ケーブルをタブレットPCに差し込むだけで、プロジェクターが自動的に起動し投写。すぐに授業を始めることが可能です。

タブレットPCとプロジェクターを活用した授業が、生徒の理解を助け、積極性を引き出します。

プロジェクターから音声も再生できる点が、英語の授業では特に効果的です。プレゼンテーションソフトウェアで作成した教材に、音声データを貼り付けておけば、クリックするだけで再生できます。文字と音声と映像を組み合わせた教材をベースに、教員と生徒、さらに生徒同士でコミュニケーションを取りながら、楽しくかつ真の英語力を鍛える授業が行えています。授業で身に付けた英語とICT環境を活用して、オーストラリアからの留学生に向けて日本文化の発表をするなど、生徒主体のアクティブ・ラーニングにも役立っています。また、機器のトラブルや操作でわからないことがあっても、ICT支援員さんがすぐに駆けつけて調整して下さるので、安心して授業を進められます。



ICT支援員が常駐し、先生・生徒達のICT活用をサポート。

リコーのプロジェクター
2大活用ポイント



- 1 プロジェクターのケーブルをタブレットPCに差し込むだけで授業を開始。
- 2 プロジェクターにスピーカーを内蔵、教室一杯に広がる充分な音量。

▶ 九段中等教育学校様のソリューション事例を、さらに詳しく、動画で。
http://www.ricoh.co.jp/case/1603_kudan/



リコーのプロジェクター

ricoh.co.jp/projector/

RICOH
imagine. change.

リコージャパン株式会社

お問い合わせ・ご用命は

<http://www.ricoh.co.jp>